

Special Counselor: Michael Frischenschlager

特別顧問:ミハエル・フリッシェンシュラーガー



ザルツブルグ出身。ソリスト、室内楽演奏者、ヴァイオリン教育者であるミハエル・フリッシェンシュラーガーは、伝統ある著名な音楽家一族の子孫である。

ザルツブルグ、ケルン、ウィーン、ローマにてヴァイオリン、指揮法、音楽学を学ぶ。ヴァイオリンをテオドル・ミュラー、アンドレ・ジュルトレル、フランツ・サモヒル、ユードイ・メニューインに師事。ウィーン・ゾリステンやウィーンフィルハーモニー管弦楽団など著名なオーケストラでの経験を経て、ソリストや室内楽者としてヨーロッパ全土、アジア、北アメリカにて演奏活動を精力的に行う。

1971年より現在に至るまでウィーン国立音楽大学にて教鞭を取り、これまでに素晴らしいヴァイオリニストを多数輩出する。同大学では、弦楽器部学部長、副学長を経て、1989年から1996年まで学長を務める。高名なヴァイオリンや室内楽のコンクールの審査員として、また、主要な大学やアカデミーのマスター

クラス講師として、世界中から招聘される。

ヨーロッパ弦楽指導者協会オーストリア前支部長。1989年よりフリッツ・クライスラー国際ヴァイオリンコンクール会長を務める。

1990年にプラハ-ウィーン-ブダペスト国際夏期講習を設立し、14年間ディレクターを務めた。